

愛知県自動車盗難等防止協議会総会を開催

愛知県自動車盗難等防止協議会(会長：小林 剛・NTP 名古屋トヨペット株式会社代表取締役社長)では、2月18日(水)にアイリス愛知で第23回総会を開催しました。

開会にあたり、当協議会の小林会長から、「2025年の愛知県の自動車盗難認知件数は、8年ぶりに1000件を超え、2年連続全国ワースト1位となった。盗難防止機器の無料貸出や自動車ユーザーへの直接的な呼びかけ等を引き続き実施し、官民一体となったオール愛知で自動車盗難防止に取り組みたい。」と挨拶がありました。

続いて愛知県警察を代表して、当協議会顧問でもある竹村生活安全部長から、「愛知県内では組織的犯行による自動車盗難・侵入盗・特殊詐欺等の被害が極めて深刻である。ただ、自動車盗難については、自動車メーカーのセキュリティシステム開発や、ディーラー・保険会社等によるユーザーへの注意喚起・防犯機器推奨により、対策が浸透してきているところである。今後も関係者と犯罪の発生状況や手口について共有しながら自動車盗防止対策を強力に進めたい。」との挨拶がありました。

その後、2026年度活動計画案等が審議・了承され、当協議会の川村副会長(一般社団法人愛知県自動車整備振興会会長)から、「愛知県の自動車盗難認知件数は2年連続の全国ワースト1位であり、不名誉な状況が続いている。従来の啓発活動に加え、ハンドルロックの無料貸出を実施しているが増加を食い止められていない。今後も少しでも実効性のある対策や啓発を展開していきたい。」と閉会の挨拶がありました。

最後に、愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課地域安全対策室の竹内室長から「愛知県の犯罪情勢と防犯対策」と題して講演があり、自動車盗難の犯行手口の実態や対策等について説明がありました。

<愛知県自動車盗難等防止協議会>

本協議会は、自動車盗難等防止活動に取り組み、安全で住みよい地域社会の実現に寄与することを目的として22団体・機関で構成されている団体であり、当支部が事務局として運営しています。

当協議会では、引き続き愛知県警察等と連携して、自動車盗難防止活動を進めていきます。



小林会長



竹村生活安全部長



川村副会長



竹内室長



小林会長・竹村生活安全部長